

## 2. 耕種農家の堆肥需要調査（アンケート）結果

## 1) アンケート調査の目的

このアンケート調査は三重県の委託を受け、堆肥を利用する耕種農家のニーズを把握することにより、県内の堆肥流通の促進を図ることを目的に平成17年度から実施しています。

なお、平成18年度の調査は、松阪農協と多気郡農協の協力を得て、耕種農家を対象に無作為でアンケート調査を実施しました。

## 2) アンケート分析

### (1) アンケート回答総数

- ・アンケートの回答総数は114戸。
- ・内訳は松阪農協管内65戸、多気郡農協管内49戸。
- ・有効回答は114戸、無効0戸。

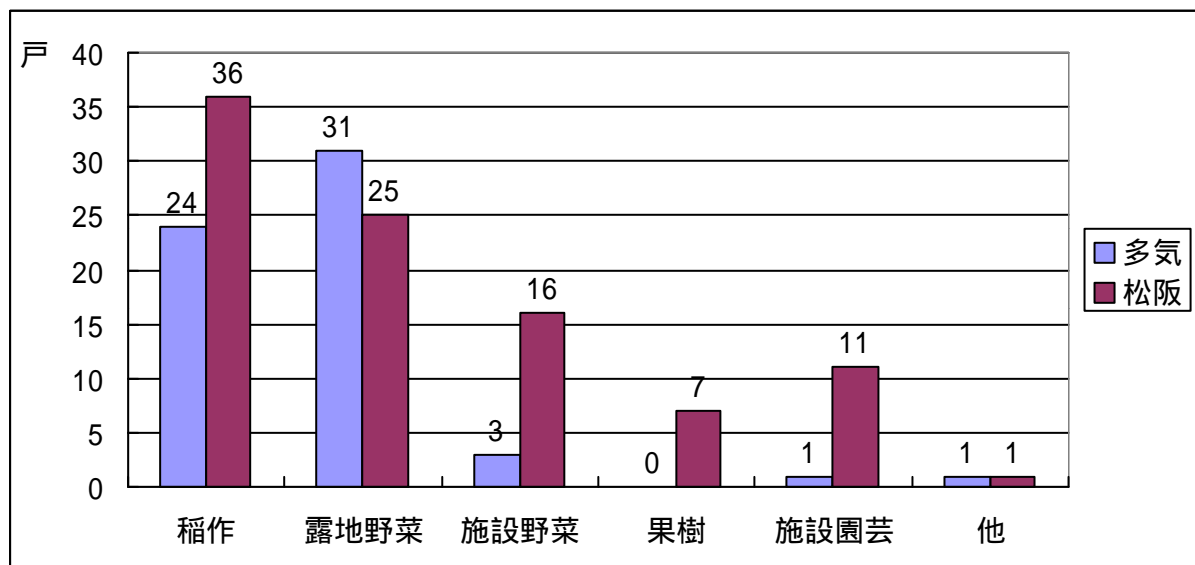
### (2) 農業経営の作目

今回、対象農家は無作為にお願いしたため、松阪農協管内と多気郡農協管内で対象農家の作目に違いが出た。特徴は松阪農協管内では施設野菜農家16戸、施設園芸農家11戸であったが、多気郡農協管内では施設野菜農家と施設園芸農家合わせて4戸であった。

多気郡農協では回答者の49%が稲作、63%が露地野菜農家でその他作目は8%であった。

回答者全体では稲作を主たる作目とする農家は53%、露地野菜農家は49%であった。

アンケート設問1. あなたの農業経営はどれに当たりますか。



### (3) 堆肥の利用状況

大半の農家が「すでに堆肥を利用している」と回答した。

内訳は松阪農協管内では78%、多気郡農協管内で61%であった。

現在利用していない農家は、回答者全体の16%であった。

#### アンケート設問2

堆肥を現在利用されていますか？または今後利用したいですか？

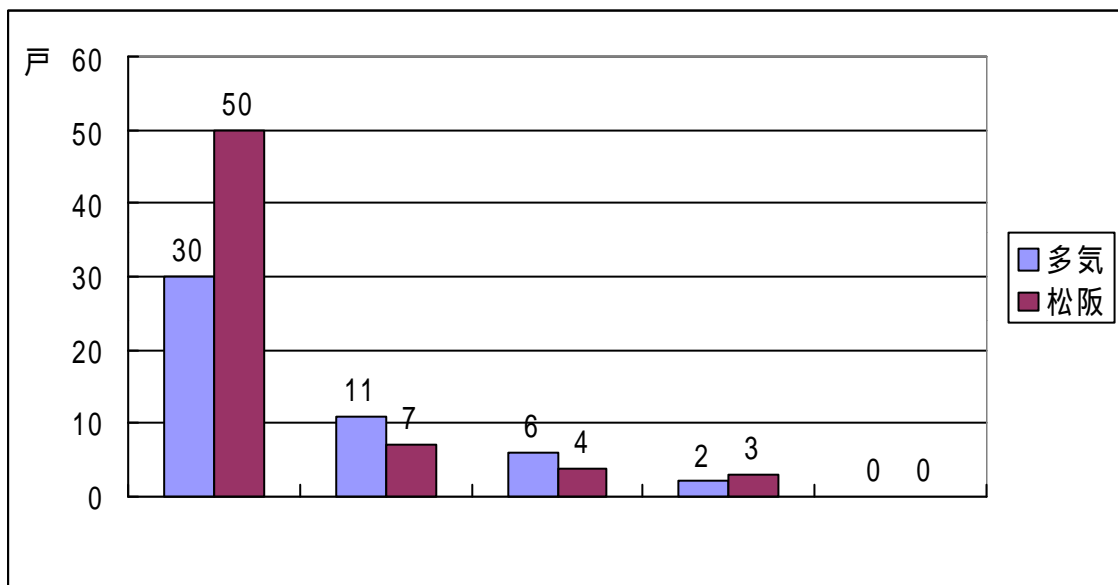
現在利用している

現在利用していない

特に考えていない

今後利用したい

今後も利用したくない



(4) 堆肥利用の理由

最も多い理由は、昨年同様、「作物の品質向上に対する期待」で全体で47%、農協別では松阪農協管内の農家のほうが期待度が55%と高かった。

ついで、「化学肥料の節減と環境にやさしい農業への期待」が全体で40%あり、この傾向は松阪77%、多気郡63%と両農協管内に共通であった。

その他の特徴としては、松阪農協管内の農家は「作物生産の安定性向上への期待」が33%と多気郡農協管内の14%を大きく上回った。

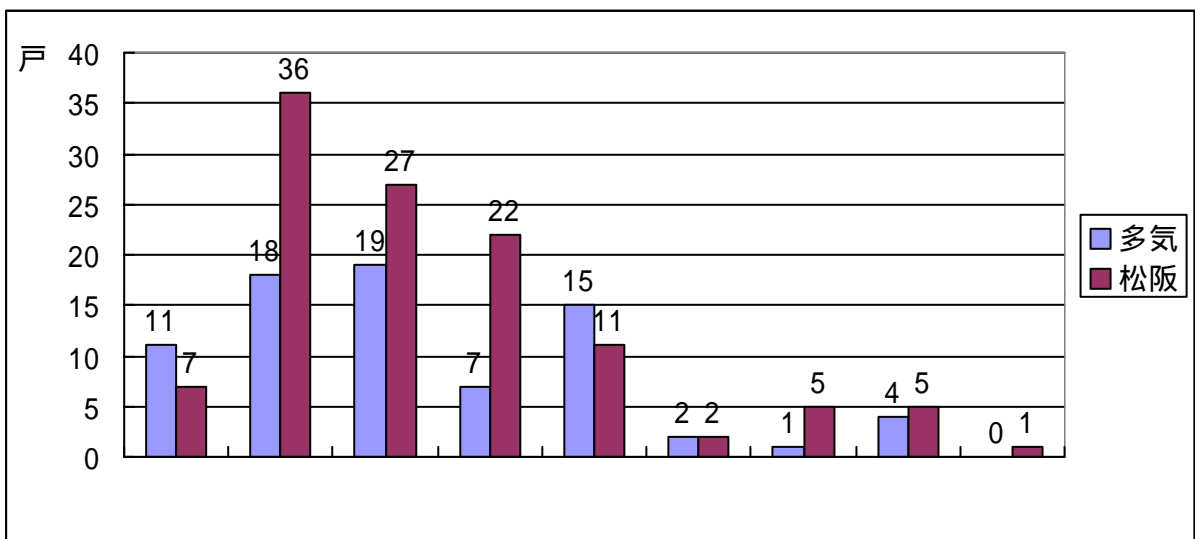
また、「稲わら交換等の資源循環型農業への期待」や「生産資材のコスト削減への期待」はそれぞれ松阪の11%、17%に対し、多気郡では22%、31%と高い期待を示していた。

アンケート設問3

堆肥を利用している理由、または利用したい理由をお答えください。

(設問の答えが複数になる場合は、「複数回答」をお願いします。以下、各設問も同様です。)

- 堆肥を利用して、稲わら交換等の資源循環型農業をしたい
- 作物の品質向上が期待できる
- 化学肥料の使用量の節減が期待でき、環境にやさしい農業ができる
- 作物生産の安定性の向上が期待できる
- 生産資材のコスト削減が期待できる
- ブランド化など農作物の販売面で有利(付加価値のある生産物の生産)になる
- 冷害や病害虫の防止・軽減ができる
- 必要量が安定して確保しやすい
- その他(土作りなど)



(5) 堆肥を利用しない理由

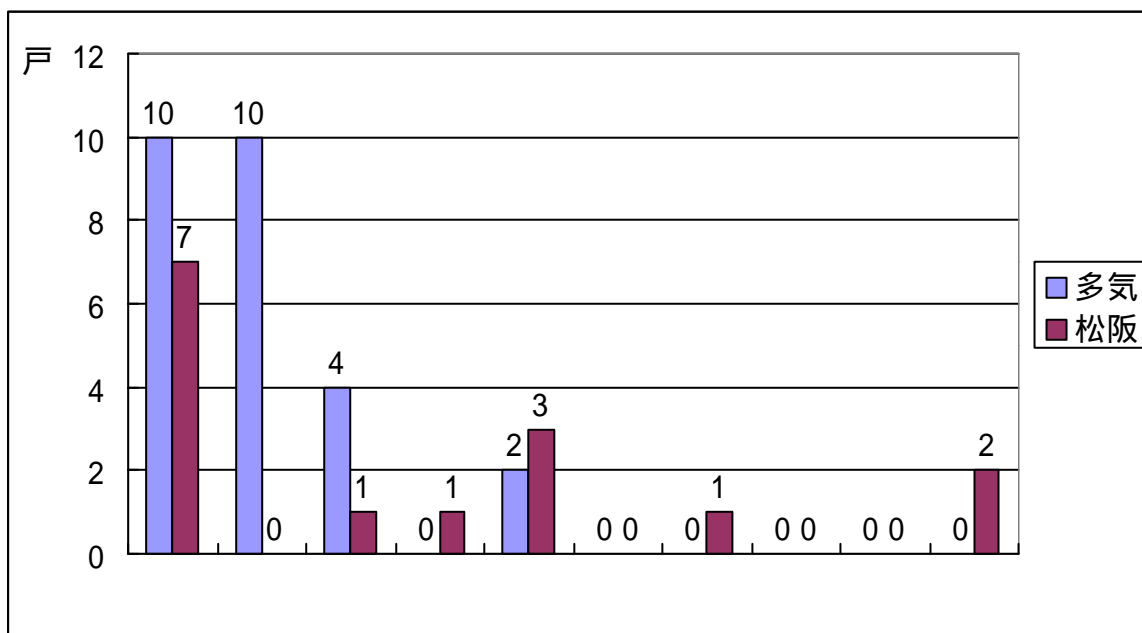
最も多い理由は「散布に労力がかかること」で、「散布機械がないこと」と合わせると、66% (41戸) であった。このことは、堆肥散布にかかる負担から利用しなかったり、利用をやめようとしていることの表れと考えられ、耕種農家ではマニアスプレッタ等の散布のための機械装備がされていないことが考えられる。

その他の理由は雑草の種子の混入と衛生上の不安、堆肥の成分量がそれぞれ12%であった。

アンケート設問4

堆肥を利用していない理由、又は利用したくない理由をお答えください。

- 散布に労力がかかる
- 散布機械がない
- 含有する成分量が明確でない
- 含有する成分量が安定しない
- 雑草の種子が混入する恐れや衛生上の問題がある
- 作物の生産性向上や品質向上の効果があまり期待できない
- 栄養成分(窒素、リン、カリ)が(少なすぎる1名・多すぎる0名)
- 必要量を安定して確保できない
- 抗生物質や重金属等が含まれている可能性がある
- その他(イチゴの高接栽培で必要としない、化学肥料の方が収量の安定が望めるため)



## (6) 堆肥に対する改善要望

改善要望は、松阪・多気郡農協管内とも共通で、最も多かったのは「雑草の種子の混入」で、全体の28%であった。次いで「散布しやすい顆粒やペレットの要望」が23%、「成分量の安定・明確性」で22%、「衛生上の問題」が16%であった。

やはり、「散布しやすく成分を明確にすること」が求められており、堆肥利用の促進のためには、堆肥の施用量や施用時期等の情報提供の必要性を感じた。

### アンケート設問5

今後利用を進めるためには、堆肥にどんな改善を望まれますか？

顆粒やペレットなど散布しやすい堆肥

成分量が安定・明確な堆肥

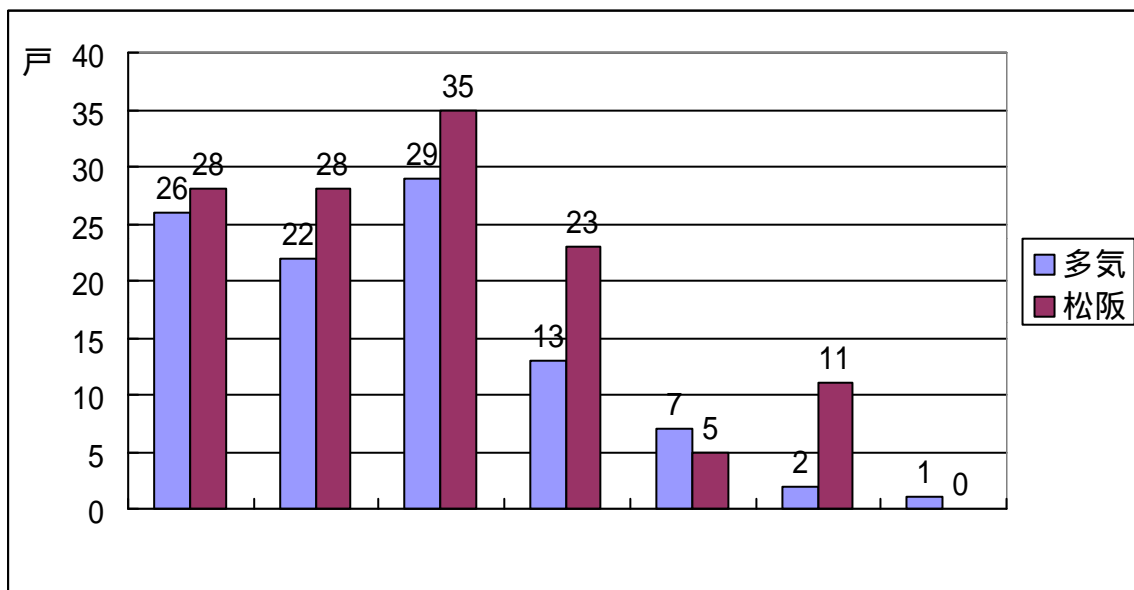
雑草の種子が混入していない堆肥

衛生上の問題がない堆肥

施用量、施用時期や施用方法など、使い方を明記した堆肥

栄養成分「窒素、リン、カリ」が(少ない5名・多い7名・両方1名)堆肥

その他(臭いのないもの)



(7) 今後希望するサービス

最も多くかつ共通した要望は、松阪・多気郡農協管内ともに「堆肥散布」が27%、「安価な堆肥」が26%であった。次いで「施用量、施用時期等の情報の分かる堆肥」が12%であった。

その他異なる要望は、松阪農協管内では「高品質、安全な堆肥」が16%、「散布・運搬機械のリース」が11%で、多気郡農協管内では「堆肥散布の施用設計」が20%の要望率であった。

アンケート設問6

今後利用が進むためには、どのようなサービスを望みますか？

散布（運搬含む）実施

散布・運搬機械のリース

堆肥散布における施肥設計

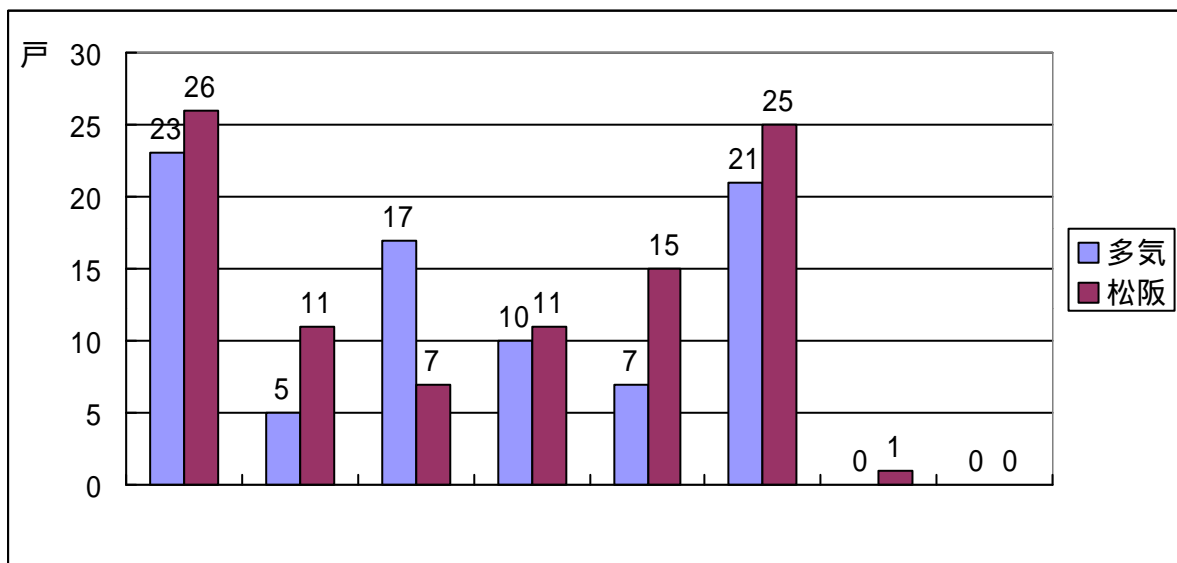
施用量、施用時期や施用方法など、使い方が明記された商品の提供

高品質、安全な商品の提供

安価な商品の提供

インターネットなど、電子媒体での堆肥情報(成分内容など)の提供

その他



(8) 堆肥の利用形態と価格

回答数は、松阪農協管内28戸、多気郡農協管内25戸と少なく、「現在利用している堆肥の形態」についての有効回答率がそれぞれ29%、22%と低いため、傾向を理解する参考として記載した。

松阪管内ではバラと袋詰めがほぼ半々で、多気郡管内では袋詰めが64%と高い。また、堆肥の「有償、無償」については松阪管内では61%が「有償」、それに反

して多気郡管内では76%が「無償」と回答、地域による流通形態の差が見られた。

「堆肥の価格について」の有効回答は、松阪農協管内19戸、多気郡農協管内10戸であった。

その価格帯は、松阪農協管内では「袋入り」で30円～350円、「バラ」で2t車1台当り1,000円～2,500円であった。

多気郡農協管内では「袋入り」50円～294円、「バラ」で2t車1台当り1,000円～10,000円であった。

その他、松阪農協管内では、「土作り」や「循環型農業への期待」の回答が3戸、「散布希望」の回答が3戸であった。

多気郡農協管内では、「堆肥と稲わらの交換」の回答が5戸であった。

### アンケート設問7

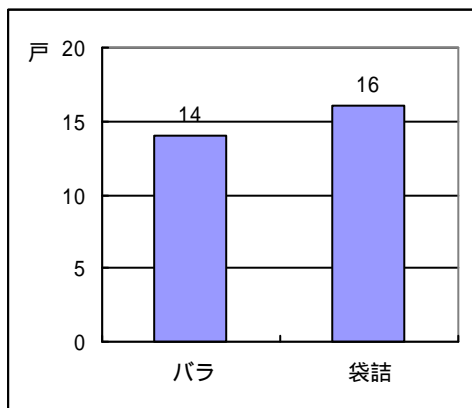
堆肥の価格について教えてください

\*この設問の価格については、グラフに反映させていません。

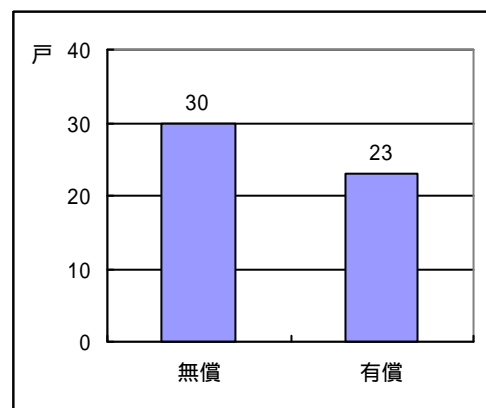
【バラか袋詰めかを選択「 」いただき、( )内に単価と単価あたりの量を記載ください。】

「現在利用している方」

(バラ・袋詰)

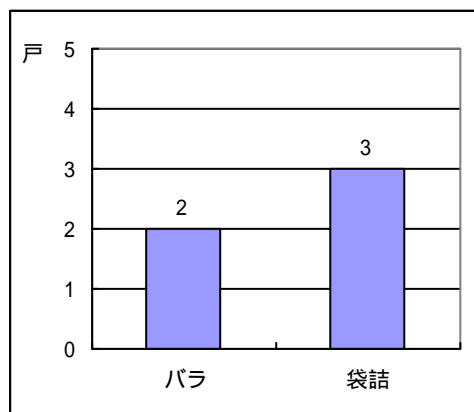


(無償・有償)

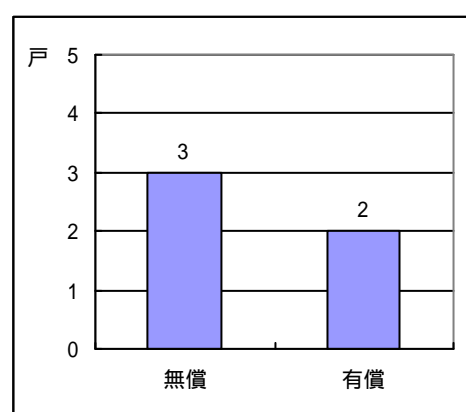


「今後利用したい方」

(バラ・袋詰)



(無償・有償)





### (9) 堆肥以外の価格

回答数は、松阪農協管内 10 戸、多気郡農協管内 21 戸と少なく、傾向を理解する参考として結果のみ記載した。

「畜産農家が運搬」は、松阪農協管内では 7 戸、多気郡農協管内では 2 戸で回答があり、「散布機械を畜産農家からリース」は、松阪農協管内で 1 戸（500、2,000 円 / 1 時間）で回答があった。

「運搬・散布を畜産農家」は、松阪農協管内で 1 戸（10,000 円 / 1 日）、多気郡農協管内で 14 戸（価格は無記入）の回答があった。

### アンケート設問 8

堆肥以外の価格について教えてください

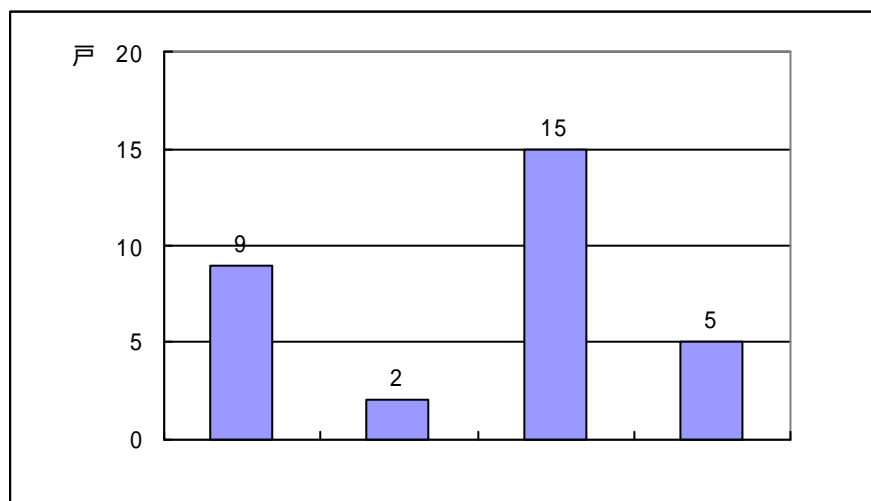
\* この設問の価格については、グラフに反映させていません。

運搬を畜産農家等に依頼している。

散布機械を畜産農家等からリースしている。

運搬から散布までを畜産農家等に依頼している。

その他



### (10) 堆肥の利用促進についての取組

最も多かったのは、「堆肥の利用による化学肥料の使用量を減らす取組」についての期待で、松阪管内 32%、多気郡管内 35%とともに高い期待率だった。

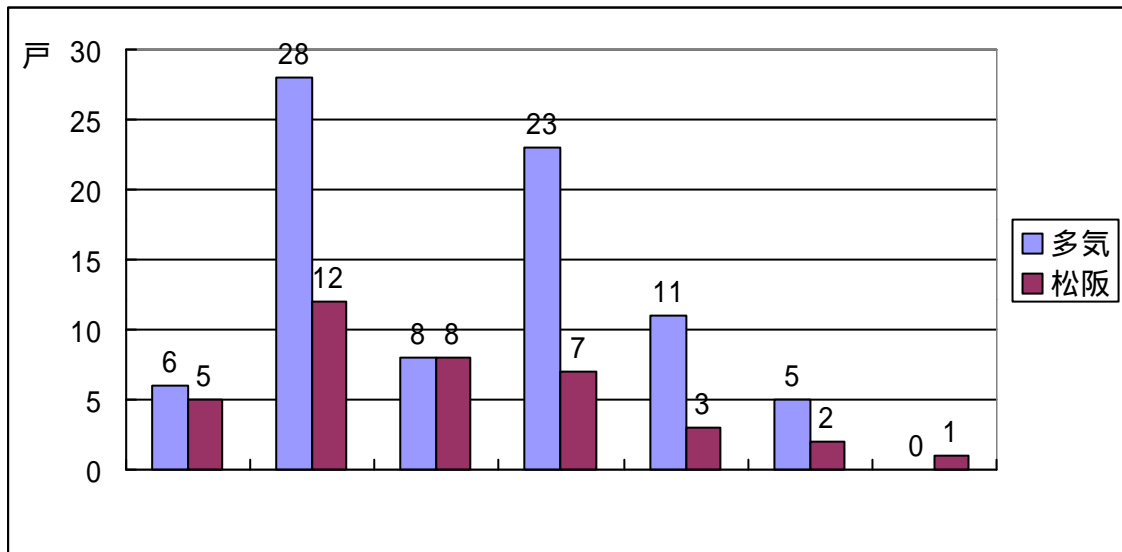
次いで、松阪管内では「堆肥散布や保管・運搬に関する取組」に 21%、「堆肥の施用効果の実証・普及」に 18%であった。

昨年度の調査で、地域での堆肥の利用促進の取組がまだまだ少ないとの回答があったが、本年の調査でも、松阪管内 38 件、多気郡管内 81 件の回答があり、特に多気郡の回答率が高く、取組に対する農家の意識の高さを感じられる。

アンケート設問9

堆肥の利用促進における取り組みをされていますか。又はどのような取組を期待されますか。

- 堆肥の需要と供給についての情報の提供や、販売・購入先の仲介
- 堆肥の利用による化学肥料の使用量を減らす
- 堆肥の散布機の共同利用、共同の堆肥保管場所など、保管・運搬の利便性を高める
- 堆肥の施用効果を実証し、普及する
- 高品質な堆肥の生産を促進する
- 堆肥の利用により生産物の付加価値を高める
- その他(エコファーマー)



(11) アンケート項目以外の意見

- ・ 必要な時期に必要な量が確保できるか心配。酪農家が中心となると思われるが、養豚経営でも必要量の堆肥が確保できるか。必要量が安定的に安価で手に入れば結構だと思います。
- ・ できれば堆肥を置いていくだけでなく、まんべんなく散布して頂くと労働力の減につながるのやってほしい。
- ・ 高齢なので、堆肥を置くだけでなく、田んぼ一面に散布してほしい。
- ・ 地元の家畜堆肥は地元で処理すべきと考えている。そのためには需要者と供給者の話し合いが必要(品質・価格・時期・方法 etc)
- ・ 少しアクションが遅い感がある(現在利用しているため)
- ・ 入荷時期の調整が必要。
- ・ 堆肥の利用は有機農業の発展につながるの、ぜひ利用したい。
- ・ 堆肥を田畑に散布すれば、循環型として環境にとって非常に良いと思うが、耕地面積が広く、散布機械も無いため散布が難しい。

< 参考掲載 >

## 家畜排せつ物堆肥の利用アンケート(お願い)

畜産農家は、家畜排せつ物法に基づき、家畜ふん尿を適正に処理するため処理施設を設置し、家畜排せつ物堆肥(以下「堆肥」という。)を作っています。

できた堆肥は、有機物を豊富に含み、土作りに有効であると考えられています。

そこで、堆肥の流通の課題を明らかにし、今後の流通促進に役立てるため、次のアンケートにご協力をお願いします。

以下、該当する「 」内にチェックマーク「 」を入れてください。

### 1. あなたの農業経営はどれに当たりますか。

耕種部門

【 稲作      露地野菜      施設野菜      果樹      施設園芸      その他 】

畜産部門

【 酪農      肉用牛肥育      養豚      採卵鶏      プロイラー      その他 】

### 2. 堆肥を現在利用されていますか？ または今後利用したいですか？

現在利用している(項目「3」へ)

現在利用していない(項目「4」へ)

特に考えていない(項目「10」へ)

今後利用したい(項目「3」へ)

今後も利用したくない(項目「4」へ)

### 3. 堆肥を利用している理由、または利用したい理由をお答えください。

(設問の答えが複数になる場合は、「複数回答」をお願いします。以下、各設問も同様です。)

堆肥を利用して、稲わら交換等の資源循環型農業をしたい

作物の品質向上が期待できる

化学肥料の使用量の節減が期待でき、環境にやさしい農業ができる

作物生産の安定性の向上が期待できる

生産資材のコスト削減が期待できる

ブランド化など農作物の販売面で有利(付加価値のある生産物の生産)になる

冷害や病害虫の防止・軽減ができる

必要量が安定して確保しやすい

その他( )

4. 堆肥を利用していない理由、又は利用したくない理由をお答えください。

散布に労力がかかる

散布機械がない

含有する成分量が明確でない

含有する成分量が安定しない

雑草の種子が混入する恐れや衛生上の問題がある

作物の生産性向上や品質向上の効果があまり期待できない

栄養成分(窒素、リン、カリ)が(少なすぎる・多すぎる)

必要量を安定して確保できない

抗生物質や重金属等が含まれている可能性がある

その他( )

5. 今後利用を進めるためには、堆肥にどんな改善を望まれますか？

顆粒やペレットなど散布しやすい堆肥

成分量が安定・明確な堆肥

雑草の種子が混入していない堆肥

衛生上の問題がない堆肥

施用量、施用時期や施用方法など、使い方を明記した堆肥

栄養成分「窒素、リン、カリ」が(少ない・多い)堆肥

その他( )

6. 今後利用が進むためには、どのようなサービスを望みますか？

散布(運搬含む)実施

散布・運搬機械のリース

堆肥散布における施肥設計

施用量、施用時期や施用方法など、使い方が明記された商品の提供

高品質、安全な商品の提供

安価な商品の提供

インターネットなど、電子媒体での堆肥情報(成分内容など)の提供

その他( )

